# 福島 頂点へあと歩

## 帯南商3年

全国高校総体

女子百メートル

## 白樺男リレー 女子好記録も決勝進出逃す

【大阪】全国高等学校総合体育大会（インターハイ、06総体THE近畿）は3日午後、陸上競技の女子百㍍決勝で福島千里（帯南商3年）が11秒73の好タイムを記録し、準優勝を果たした。サッカーは、2回戦で帯北が韮崎（山梨）と対戦、1点先制された後半に高瀬証（3年）のゴールで同点としたが、終了間際に失点し、1―2で敗れた。バスケットボールは、男子2回戦で多嶋朝飛（3年―帯大空中出）がメンバー入りする北陸（福井）が善通寺一（香川）を117―72、女子同で反町真理子（3年―帯四中出）が主将の中村学園（福岡）が静岡商（静岡）を97―61、小山田舞、境藤昌江（3年―音更中出）が主力の函大柏稜も星城（愛知）を79―71とそれぞれ勝利し、3回戦に進出。山内あずさ（3年―帯八中出）がメンバー入りする札幌山の手は誠英（山口）に65―76で敗れた。第3日は4日、大阪府など各会場で17競技を行った。（宮木宗久、大野篤志、丸山一樹）

【女子百㍍決勝】力強い走りでスピードに乗ったままフィニッシュする福島千里（帯南商）

## すべて懸けた夢果たせず

### 高橋との勝負 史上最高レベル 日本担う存在へ

女子百㍍で優勝した高橋萌木子（埼玉栄、左）と健闘をたたえ合う福島千里

陸上

（3、4日・長居陸上競技場）

第3日の4日は、男女11種目を行った。午前の女子七種競技、第1種目の百十㍍障害に出場した佐藤彩香（恵庭北2年―駒場中出）は、16秒08の総合21位でスタートを切った。同円盤投げ予選1組の桑井亜乃（帯農2年）は34㍍74で予選通過記録を突破できなかった。男子走り幅跳び予選には、皆川澄人（白樺学園1年）、小西康道（同）、佐藤悠平（本別3年）、齋藤奨（帯工3年）の4人が出場した。

第2日の3日は、男女9種目の決勝などを行い、女子百㍍決勝で福島千里（帯南商3年）は同種目3連覇を狙う高橋萌木子（埼玉栄3年・埼玉）に0秒10及ばず11秒73で準優勝だった。男子四百㍍障害予選は佐々木康尊（白樺学園2年）が55秒80の2組8着、同ハンマー投げ予選は1組の谷川和樹（帯農2年）が記録無し、2組の青田裕次（同3年）も49㍍94でそれぞれ決勝進出は果たせなかった。

同4×百㍍リレー準決勝は、1組の白樺学園（黒澤賢一、阿部貴光、西貴裕、鈴木俊広）が予選で記録した十勝高校記録を上回る41秒35の力走を見せたが、5着で決勝進出を逃し、女子同の帯南商（柴山衣理、中島悠貴、五十嵐友、福島千里）も47秒60の2組6着で決勝進出を逃した。

いのうえ歯科医院
市内西9条南2丁目 ☎25-6480

### 女子円盤投げ 桑井（帯農）予選突破ならず

### 自己ベスト更新 目標に頑張る

○…「昨年のインターハイで記録した自己ベスト更新」を目標に女子七種競技第1種目・百㍍障害に臨んだ佐藤彩香（恵庭北2年―駒場中出）は、16秒08をマーク。総合21位とまずまずのスタートを切った。

昨年記録した15秒52には及ばなかったものの、リズム良くハードルを越え、組5着でフィニッシュ。「向かい風0・6㍍の条件では、まあまあのタイム」と話す。昨年は総合30位と力を出し切れなかった。「調子は上がってきているので、順位よりも自己ベストを意識して頑張りたい」と挑んでいく。

【女子七種競技・百㍍障害4組】リズム良くハードルをクリアしていく佐藤彩香（恵庭北―駒場中出）。組5着の総合21位でスタートを切った

### レベル高い組 突破できず涙

○…男子4×百㍍リレー準決勝1組5着となった白樺学園（黒澤賢一、1年、阿部貴光、西貴裕、鈴木俊広・以上3年）は、前日にマークした十勝高校記録を上回る41秒35で力走したが決勝進出を逃し、メンバーは目に悔し涙を浮かべた。

黒澤の好スタートからスピードに乗ったまま、流れるようなバトンパスでほぼ完ぺきな内容。しかし41秒06を記録した桐蔭学園（神奈川）など優勝候補と同組だったため、2着以内に残れなかった。西は「ベストの走りができたので（決勝に）残れると思っていたが、レベルが高かった」。

チームは十勝高校記録更新の目標をインターハイの大舞台で達成。「まだ改善できるところはある。大学生や社会人相手にどこまで戦えるか挑戦したい」（鈴木）と10月末の日本選手権リレー参戦を目指す。

【男子4×百㍍準決勝1組】白樺学園の第2走者の阿部貴光（中央）から流れるようなバトンパスで加速する第3走者の西貴裕（右）

### 来年につながる良い経験できた

○…男子四百㍍障害予選2組に出場した佐々木康尊（白樺学園2年）は、55秒80の8着で準決勝進出を逃したが「うまくいった部分もあった。来年につながる良い経験になった」。

好スタートを切ったがいつも以上のスピードで第4障害に歩数が合わず減速。後半に再び加速したが順位を上げることはできなかった。

それでも、「これまでミスが多かった後半の障害をうまく越えることができた。序盤のスピードを生かせればタイムは確実に速くなる」と再び大舞台に戻ってくることを誓った。

佐々木康尊

【男子ハンマー投げ予選2組】青田裕次（帯農）は49㍍94の自己ベストをマークした

### 悔しい部分もある

男子ハンマー投げ予選

#### 自己ベストを更新する

49㍍94をマークした青田裕次（帯農3年）の話

で自己ベストを更新することは良かった。満足のいく結果は残せなかったが、これも自分の力として受け入れたい。今後はラグビー部で北大会を目指し頑張る。

#### 悔しい部分も

決勝に進めず悔しい部分もあるが、最後のインターハイで自己ベストを76㍍更新できたことは良かった。満足のいく結果は残せなかったが、これも自分の力として受け入れたい。今後はラグビー部で北大会を目指し頑張る。

---

# 高雄が準決勝に進出

OBIHIRO LADIES OPEN 2006

帯広国際女子オープンテニストーナメント2006（帯広テニス協会主催、十勝毎日新聞社共催）は4日午前10時から第5日の競技を行い、シングルスとダブルスの本戦準々決勝を行った。午前のシングルス本戦準々決勝では、高雄恵利加（北日本物産）が飯島久美子（同）を2―0で破り、準決勝進出を決めた。第4日の3日は、シングルス本戦2回戦とダブルス本戦準々決勝を実施した。シングルス本戦2回戦では、森田あゆみ（フリー）、高雄ら8人が準々決勝に進出。ダブルス本戦準々決勝は、飯島久美子・波形純理組（北日本物産・フリー）と道慶知子・矢部由希子組（ミズノ・アシックス）が準決勝に駒を進めた。（中津川甫）

### プレーに満足できた

#### 韓国出身の金（青森大）

シングルス本戦2回戦で、韓国勢として唯一残っていた2004年全日本選手権ダブルス優勝の金恵美（22）＝青森大＝が惜敗。「勝ち負けよりも自分のプレーができれば良かった。最後まであきらめずプレーできたことに満足している」と振り返った。

韓国・ソウル市出身。2002年に有力なテニス選手を受け入れている青森大に入学。来春には同大大学院に進学する予定で、将来の夢は大学教授だ。「今のテニス経験と大学院で学んだ知識を今後に生かしていければ」と語り、テニスと学業の両立に力を入れている。

来日当初は言葉の壁にぶつかり苦労した。それでも努力で流ちょうに会話できるようになった。今では日本人選手の友達も多く「毎日、ノートで分ぐらい日本語で日記をつけて漢字の勉強をしてます」と語る。

今大会では、シングルスで敗退したものの、ダブルスでは田口恵子（福島県体育協会）と組んで準々決勝進出を果たしている。「ダブルスでは頑張ります」と力を込めた。

### 韓国人選手としてシングルス本戦2回戦に唯一進出した金恵美（青森大）

最後まで奮闘したが惜敗した

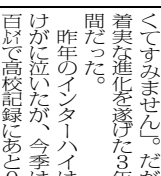
〈シングルス〉
◇本戦トーナメント2回戦
高雄恵利加（北日本物産）2―0水野真里子（フリー）
飯島久美子（北日本物産）2―0濱村夏美（フォーリーフジャパン）
加藤茉弥（青森山田）2―0波形純理（フリー）
米村明子（ワコール）2―0手塚玲美（フリー）
米村知子（ワコール）2―1藤代春香（荏原製作所）
森田あゆみ（フリー）2―0エミリー・ヒューソン（オーストラリア）
高瀬礼美（荏原製作所）2―0金恵美（青森大）
久松志保（荏原製作所）2―0尾崎良加（フリー）

〈ダブルス〉
◇本戦トーナメント▽準々決勝
飯島久美子・波形純理（北日本物産・フリー）2―0濱村美・前川綾香（フォーリーフジャパン・相愛大）
道慶知子・矢部由希子（ミズノ・アシックス）2―1尾崎良加・猿田宏子（フリー・カトウテニスクラブ）

### また十勝に来たい

#### シングルス本戦2回戦で敗退したエミリー・ヒューソン（オーストラリア）の話

最後の対戦相手となった森田あゆみ（フリー）は非常に良いプレーヤーで、あちこちに打ち込まれ完敗だった。自分の流れに切り返そうとしたができなかった。ホームステイ先では茶道を楽しませてもらって興味深いことばかりだった。また大会関係者に連れて行ってもらった高橋まんじゅう屋（帯広市東1南5）のおやきのチーズ味が忘れられない。来年もスケジュールが合えば、また十勝に来たい。



### 6日にキッズテニス教室

帯広国際女子オープンテニストーナメント2006に合わせ、小学生以下の初心者の子供たちを対象にしたテニスと礼儀作法を学ぶ「マナー・キッズテニス教室」（日本テニス協会主催、帯広テニス協会主管）が6日、帯広市総合体育館で行われる。参加者を募集している。時間は午前8時半集合、午前9時―正午。参加費は保険料の500円。

講師は小笠原流礼法の鈴木万亀子総師範、大森肇筑波大大学院助教授、田辺正氏（元デビスカップ日本代表）、溝口美貴氏（元プロテニスプレーヤー）ら。上靴の運動靴を持参し、運動できる服装で参加する。参加希望者は当日会場へ。

かちまいスポーツ
スポーツの日程・記録は▼FAX0155-25-2700
掲載写真の申し込みは▼TEL0120-25-9410